



みどりシリーズ

わかば

あおば(横型モデル・縦型モデル)

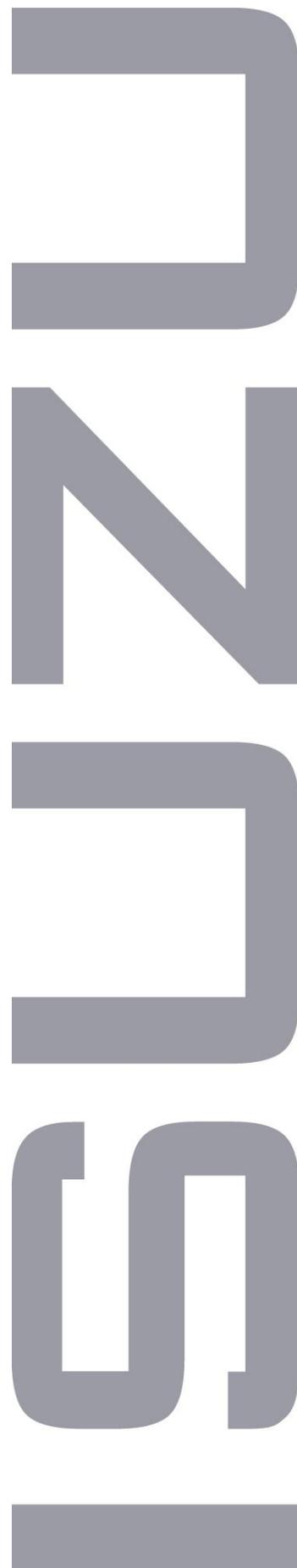
さくら

Ver1.0



当社製品を御購入いただきましてありがとうございます。
お使い頂く前に、必ずこの説明書をお読みください。
この説明書は恒温器・培養器本体に関する説明書です。
温度調節器に関する取扱説明書は別添しておりますので
ご参照ください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

株式会社 いすゞ製作所



目次

1 安全上の注意	2
2 取り扱い上の注意	
2.1 据付時	3
2.2 配線時	4
2.3 操作運転時	5
2.4 保守、点検時	9
2.5 その他	9
3 各部の名称	10
4 運転前の準備	13
5 「故障かな？」と思ったら	14
6 お手入れについて	15
7 保証とアフターサービス	17
8 仕様	
8.1 わかば(VTEC-18、40、75、154)	18
8.2 あおば横型モデル(VTEC-166、216、274)	19
8.3 あおば縦型モデル(VTEC-200、300)	20
8.4 さくら(MRNE-22、45 MRJE-22、45)	21

1. 安全上の注意

この製品及び取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしており、その内容を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しております。設置、運転、保守、点検の前に必ずこの取扱説明書及びその他の付属書をよく読んで遵守してください。



取扱いを誤ると、生命や身体に重大な被害を受ける可能性が想定される場合。



取扱いを誤ると、危険な状況が起こりえて中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

取扱説明書に記載されている事項以外の操作を行った場合による事故については保証期間内でも当社は一切責任を負いません。

絵表示の意味



三角の絵表示は **危険**（**注意**を含む）な事項を示しています。
この絵表示の近くに、具体的な危険（注意）内容を記載しています。



丸に斜線の絵表示は **禁止事項** を示しています。
この絵表示の近くに、具体的な禁止内容を記載しています。



白抜きの絵表示は **必ず実行** してほしい事項を示しています。
この絵表示の近くに、具体的な指示内容を記載しています。

2. 取り扱い上の注意

2.1 据付時

危 険

爆発性、引火性ガス雰囲気での使用禁止。



爆発性、引火性のある雰囲気中では絶対に使用しないでください。

本器は防爆構造ではありませんので、スイッチの入り切りの時に火花の発生を伴い、火災爆発の原因となります。

不安定な場所は避けてください。



水平なしっかりした床（台）に設置してください。
水平に据え付けないと、思わぬトラブルや故障の原因となります。

大電流・スパーク等電氣的衝撃の多い場所は避けてください。



マイクロコンピュータを使用している機種では、電氣的なノイズが多いとコンピュータが暴走して制御不能となって大きな事故や故障の原因となります。

注 意

- 1) 直射日光に当てないでください。
- 2) ほこりや湿気の多いところでは使用しないでください。
- 3) 通気孔を塞がないでください。器体の損傷や精度の低下が起こるおそれがあります。
- 4) 器体を壁や器物に押しつけて据付ないでください。器体の損傷を早めたり、点検、修理の妨げになります。

2.2 配線時

⚠ 危 険

アース線を必ず接続してください。

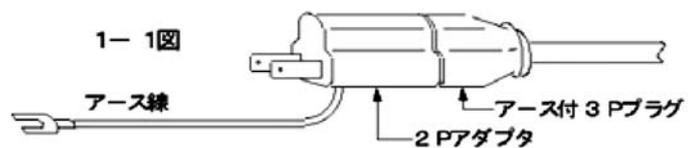


アース線接続

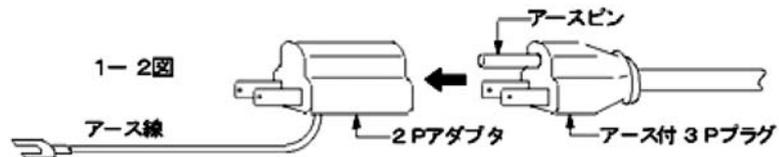


感電注意

- ◎漏電による感電事故を避けるため必ずアース線を接続してください。
- ◎アース線はガス管には絶対に接続しないでください。火災の原因になります。
- ◎アース線は電話線のアースや避雷針には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因になります。
- ◎100V機種の電源プラグには図のようにアース線がついておりますので、電源設備側のアース端子に接続してください。(1-1図)
電源設備側にアース端子がない場合にはアース工事が必要です。



アース工事には電気工事の資格が必要ですので、お買いあげの販売店又は電気工事店に依頼してください。



アース付の3Pコンセントがある場合には図のようにアダプタを引き抜くとアース付の3Pプラグになりますので、コンセントに確実に差し込んでください。

電源コードの接続について



電源プラグのない機種の電源コードの接続は、お買い上げの販売店、または電気工事店に依頼してください。
接続には専門の知識・技能が必要で、一般の人が接続を行うと火災・感電の原因になります。また、電源ケーブルの延長や多数の電源を分岐して使用するいわゆるタコ足配線は装置の性能を低下させるとともにコードの過熱による火災の原因にもなりますので、お止めください。電源はコンセント、または端子台に直接つないでください。

⚠ 注 意

- 1) 必ず本体を据え付けてから配線してください。感電、火災のおそれがあります。
- 2) 製品の定格電圧と交流電源の電圧が一致していることを確かめてください。
製品が破損したり、けが・火災のおそれがあります。
- 3) 長期間使用しないときは電源コードをコンセント又は端子台から外してください。
火災のおそれがあります。

2.3 操作運転時

⚠ 危 険

- 1 下記の引火物、可燃物を器体の槽内に入れたり、そばに置いたりしないでください。

火傷、火災のおそれがあります。

【爆発性物質】

- ・ニトログリコール、ニトログリセリン、ニトロセルローズ、その他の爆発性の硝酸エステル類
- ・トリニトロベンゼン、トリニトロトルエン、ピクリン酸、その他の爆発性のニトロ化合物
- ・過酢酸、メチルエチルケトン過酸化物、過酸化ベンゾイル、その他の有機過酸化物
- ・アジ化ナトリウムその他の金属のアジ化物

【可燃性物質】

1) 発火性の物

金属（リチウム、カリウム、ナトリウム）、黄燐、硫化燐、赤燐、セルロイド類、炭化カルシウム（別名カーバイド）、燐化石灰、マグネシウム粉、アルミニウム粉、マグネシウム粉及びアルミニウム粉以外の金属粉、亜ニチオン酸ナトリウム（別名ハイドロサルファイト）

2) 酸化性の物

- ① 塩素酸カリウム、塩素酸ナトリウム、塩素酸アンモニウム、その他の塩素酸塩類
- ② 過塩素酸カリウム、過塩素酸ナトリウム、過塩素酸アンモニウム、その他の過塩素酸類
- ③ 過酸化カリウム、過酸化ナトリウム、過酸化バリウム、その他の無機過酸化物
- ④ 硝酸カリウム、硝酸ナトリウム、硝酸アンモニウム、その他の硝酸塩類
- ⑤ 亜塩素酸ナトリウム、その他の亜塩素酸塩類
- ⑥ 次亜塩素酸カルシウム、その他の次亜塩素酸塩類

3) 引火性の物

- ① エチルエーテル、ガソリン、アセトアルデヒド、酸化プロピレン、二硫化炭素、その他の引火点が零下30℃未満の物
- ② ノルマルヘキサン、酸化エチレン、アセトン、ベンゼン、メチルエチルケトン、その他の引火点が零下30℃以上0℃未満の物
- ③ メタノール、エタノール、キシレン、酢酸ベンチル（別名酢酸アミル）、その他の引火点が0℃以上30℃未満の物
- ④ 灯油、軽油、テレピン油、イソペンチルアルコール（別名イソアミルアルコール）、酢酸その他の引火点が30℃以上65℃未満の物

- 4) 可燃性のガス（水素、アセチレン、エチレン、メタン、エタン、プロパン、ブタン、その他の温度15℃1気圧において気体である可燃性の物をいう。）

【以上は労働安全衛生施行令 第6条 別表第一より抜粋】

- 2 可燃性の物質（紙類、布類、木片等）は、その物質の発火点をよく確認してから処理してください。
- 3 紙類、布類、木片等でも、油脂類が付着したり、浸含したものは絶対に器内にいれないでください。
- 4 反応熱が発生する物質を器体の槽内に入れないでください。
火傷、火災のおそれがあります。

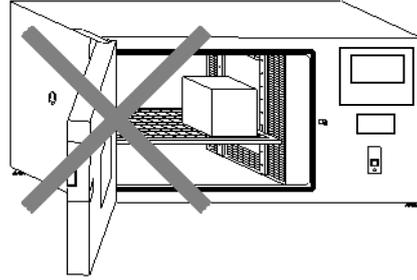


自己発熱をする物質や、異種混合物質で反応熱が発生するような物質は絶対に槽内に入れないでください。火災の原因になります。
本器の過昇防止器は加熱ヒータを遮断するものであり、試料の発熱に対しての保護機能はありません。

5 槽内の吸い込み口を試料で塞がないでください。火災のおそれがあります。
(強制循環式機種のみ)



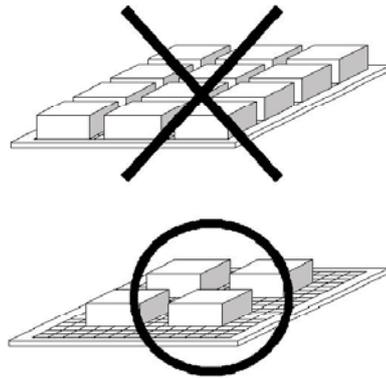
吸い込み口付近は十分に空間を確保してください。
吸い込み口は全ての循環空気が通過するので、塞ぐと温度分布が極端に悪くなるばかりでなく本体故障の原因になります。



6 試料を多量に槽内に入れないでください。火災のおそれがあります。



処理試料を棚板に載せる場合は30～50%の空スペースをとってください。
空スペースが少なすぎると空気の対流が悪くなり、各棚に大きな温度差を生じて試料の処理結果が不均一になり、試料の変質や火災の原因になります。



7 運転中の接触注意



運転中や停止直後は、扉やケーブル孔には手を触れないでください。高温のため、やけどのおそれがあります。

8 無人運転は要注意。



夜間・休日等、人の居ない状態で運転する場合は十分に注意してください。
火災その他思わぬ事故の原因になります。
無人で運転する場合にはブレーカ、過昇防止器の設定値、内部上限警報の設定値、その他の安全機能に異常がないことを十分確かめ、周囲の整理整頓を行って燃えやすい物や引火性の危険物は影響のない所へ移動する等、通常以上の注意を払ってください。
更に、万一の際の対応策も確立して安全運転に努めてください。

9 電源を落とす前に必ず運転を終了させてください。



運転が終了した時は

V T = “リセット” キーを押し、“RUN” の表示が消えていることを確認

M R = “STOP” の表示が点灯していることを確認

M T = “RDY” の表示が点灯していることを確認

してから電源ブレーカを切ってください。

強制循環式恒温器の場合、運転停止後もモータ保護のため約 15 分間モータとファンが回り続けます。モータとファンが完全に止まってから電源ブレーカを切ってください。

10 エラーが表示された場合

温度調節器取扱説明書の「エラーの表示と対処方法」に記述してある「対処方法」に従って処置をしてください。

⚠ 注 意

1) 本体上面を作業台や物置きにしないでください。



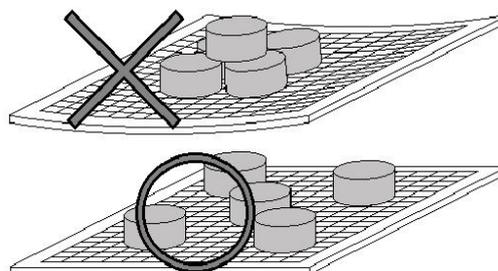
本体上面は非常に熱くなります。
物を乗せると器体破損や火災の
原因になります。



2) 処理試料は分散させて棚板に乗せてください。



棚板の許容質量は分散質量で15kgを
標準としておりますので試料は棚板の
一部に集中的に乗せず、なるべく全体に
広げて乗せてください。



3) パッキン材質について



扉のパッキンはシリコンゴムを使用しております。
運転時にはシリコンゴムより安息香酸、ゴム揮発分が発生します。
これらの発生を嫌う試料の処理はしないで下さい。又、パッキンは酸、アルカリ、
オイル、ハロゲン系溶剤に冒されることがありますので注意してください。

2.4 保守、点検時

危 険

1) 電気について専門の知識・技能を持つ方以外は保守、点検をしないでください。



電気について専門の知識・技能を持つ方以外は保守、点検をしないでください。
感電、ケガのおそれがあります。

2) 作業前に金属物（時計、指輪など）を外してください。感電、けがのおそれがあります。

3) 作業は絶縁対策工具を使用して行ってください。感電、けがのおそれがあります。

2.5 その他

危 険

1) 分解・改造は絶対にしないでください。



本器は絶対に分解改造はしないでください。
内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因になります。
内部の点検・調整・修理は販売店又は当社に依頼してください。

2) 頻繁にスイッチの入り切りをしないでください。感電、火傷、火災のおそれがあります。

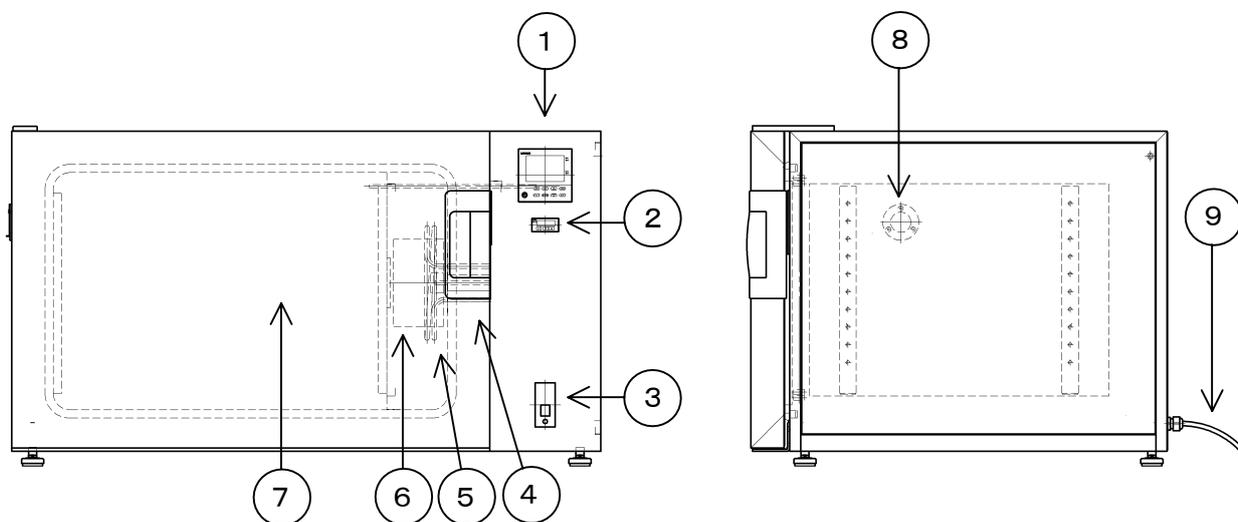
注 意

取扱説明書の本文に掲載されているすべての図解は細部を説明するために安全のための部品を取り除いた状態で描かれている場合があります。

製品のカバー等を外した際には必ず元通りに組立られていることを確かめてから取扱説明書に従って運転してください。

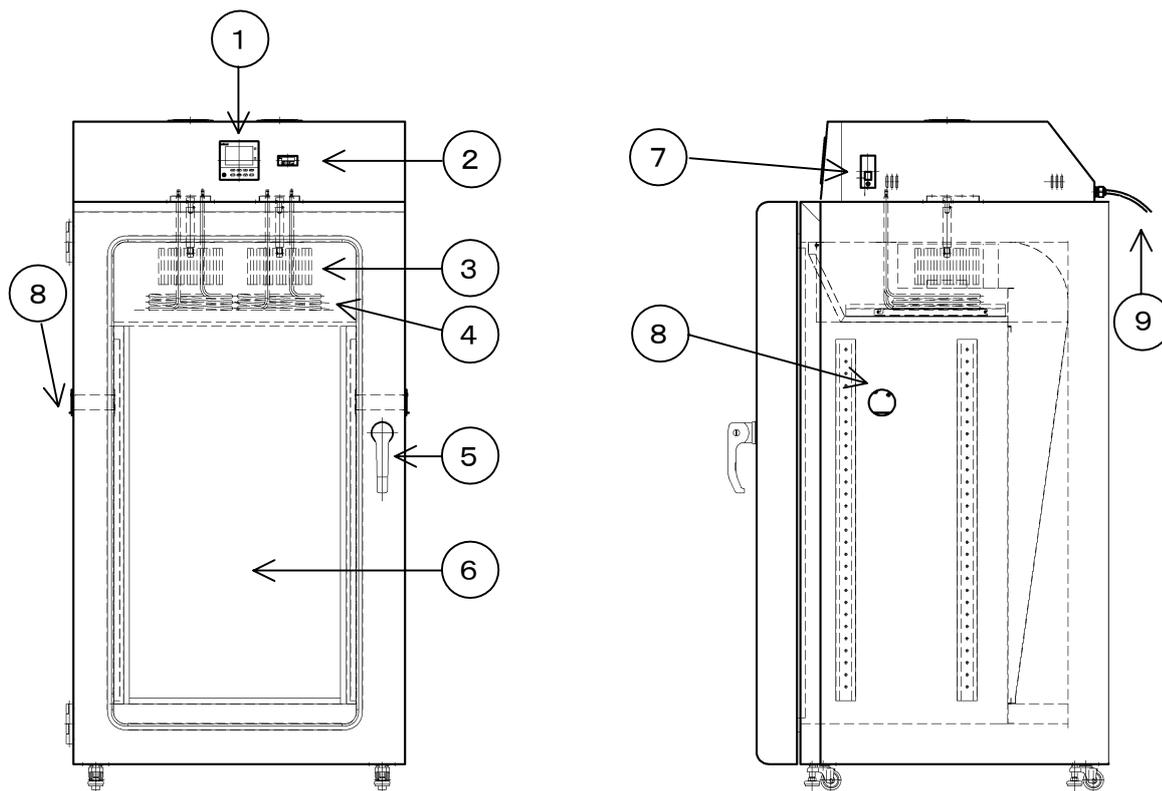
3. 各部の名称

わかば VTEC-18~154
あおば横型モデル VTEC-166~274



- ① 温度調節器 : 詳細は別紙温度調節器の取扱説明書を参照してください。
- ② 過昇防止器 : 槽内の温度が設定値以上のとき、電源回路を遮断する安全装置です。
- ③ ブレーカ : 本器電源のON・OFF用のブレーカです。
- ④ 取っ手 : 取っ手を手前に引くと扉が開きます。
- ⑤ 加温ヒータ : 槽内加温用のリングヒータです。
- ⑥ シロッコファン : 攪拌循環用のファンです。
- ⑦ 扉 : 標準は左蝶番右取っ手です。
- ⑧ ケーブル孔 : 被処理試料との電源、信号等のケーブル貫通孔です。
- ⑨ 電源ケーブル : (VTEC-18~154) 100V プラグ付き3芯キャブタイヤコード
(VTEC-166~274) 200V-1φ アース線付き3芯キャブタイヤコード

あおば縦型モデル VTEC-200,300

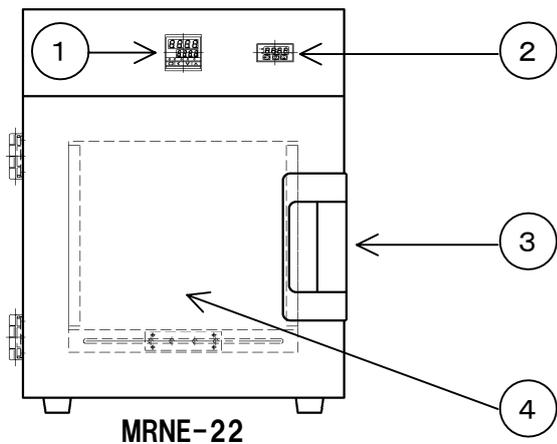


- ① 温度調節器 : 詳細は別紙温度調節器の取扱説明書を参照してください。
- ② 過昇防止器 : 槽内の温度が設定値以上のとき、電源回路を遮断する安全装置です。
- ③ シロッコファン : 攪拌循環用のファンです。
- ④ 加温ヒータ : 槽内加温用のリングヒータです。
- ⑤ 取っ手 : 取っ手を左に回転させ、引くと扉が開きます。
- ⑥ 扉 : 標準は左蝶番右取っ手です。
- ⑦ ブレーカ : 本器電源ON・OFF用のブレーカです。
- ⑧ ケーブル孔 : 被処理試料との電源、信号等のケーブル貫通孔です。
- ⑨ 電源ケーブル : 200V-1φ アース線付き3芯キャブタイヤコード

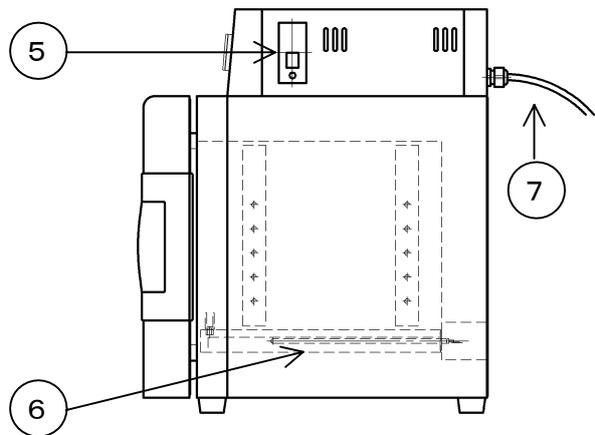
さくら

MRNE-22、45

MTNE-22、45

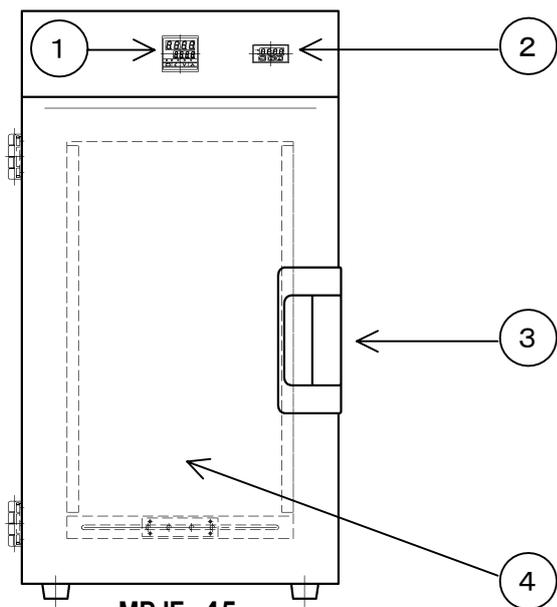


MRNE-22

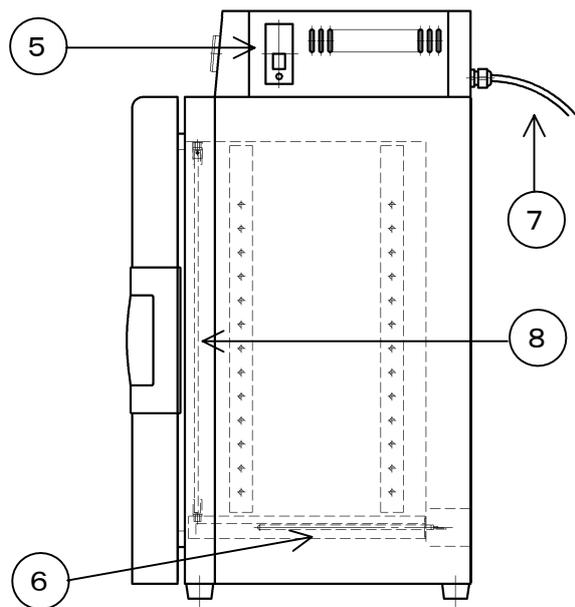


MRJE-22、45

MTJE-22、45



MRJE-45

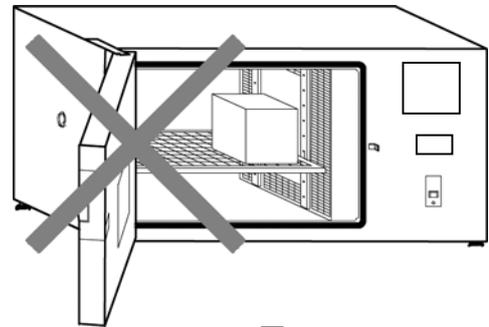


- ① 温度調節器 : 詳細は別紙温度調節器の取扱説明書を参照してください。
- ② 過昇防止器 : 槽内の温度が設定値以上のとき、電源回路を遮断する安全装置です。
- ③ 取っ手 : 取っ手を手前に引くと扉が開きます。
- ④ 扉 : 標準は左蝶番右取っ手です。
- ⑤ ブレーカ : 本器電源ON・OFF用のブレーカです。
- ⑥ 加温ヒータ : 槽内加温用のシーズヒータです。
- ⑦ 電源ケーブル : 100V プラグ付き3芯キャブタイヤコード
- ⑧ 内扉 : (MRJE、MTJEのみ)アクリル製の扉です。プッシュラッチ式で手前に開きます。

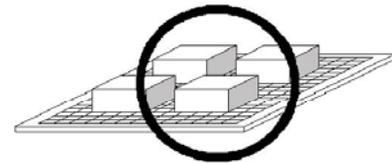
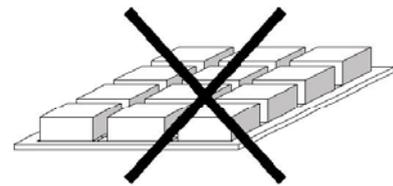
4. 運転前の準備

本項記載の各項目は「始業点検項目」にもしておりますので、毎回運転を始める前に必ず点検と確認を行ってください。

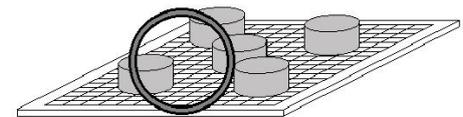
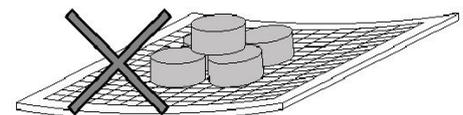
1. 本器を初めてお使いになる場合は、本紙はじめ別添の温度調節器取扱説明書をよくお読みになり、本器や温度調節器の操作に慣れるまで処理試料等は実装せずに空槽で試運転をしてから運転をされることをお奨めします。
2. 温度調節器ユニットの電源ブレーカはあらかじめOFFにしておいてください。
3. 電源プラグはコンセントに確実に接続しアースが接続されていることを確認してください。
4. 処理試料の量や形状に応じて、段棒と棚板をセットし直してください。
5. 槽内の吸い込み口付近を試料で塞がないでください。(強制循環式機種)(1図)
ヒータカバーの上には絶対に試料を載せないでください。(自然対流式機種)
6. 処理試料を棚板に乗せる場合は30～50%以上のスペースをとって入れてください。(2図)
スペースを塞ぎ過ぎると空気の対流が不十分となり、各棚に大きな温度差を生じて試料の処理結果が不均一になり、装置の損傷の原因になります。
7. 棚板の許容質量は分散質量で15kgを標準としておりますので、試料は棚板の一部に集中的に載せず、なるべく全体に広げて載せてください。(3図)
8. 試料の細片や付着物を下に落とさないでください。
ヒータカバーが網状であることと、加熱中はヒータの表面温度が相当高くなっているため、落下物がヒータにふれると発煙や発火、異臭の発生することがあります。(自然対流式機種)
9. ケーブル孔は処理試料への電源供給や、処理試料からの信号引き出しを行う等の場合以外は全閉にしてください。
10. 本器は安全上のため、温度調節器とは別に過昇防止器が標準装備されております。運転を開始する前に過昇防止器の設定温度を運転使用温度より+20℃程度を目安にセットしてください。
11. 本器の周辺に燃えやすいものや揮発性の物質を置かないよう、周囲を整理してください。



1図



2図



3図

5. 「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも症状が改善されない時は、7. 保証とアフターサービスをご覧の上修理を依頼してください。

こんなとき	ここをお確かめ下さい
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントから外れていませんか。 ● 使用電圧は適正ですか。 ● コンセントに電気が来ていますか。 そのコンセントに他の器具をつなぐと動きますか。 ● ブレーカはONになっていますか。
温度が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> ● “運転”キーは押ししましたか。“運転”キーを押さないと待機状態のままです。 ● “自動入り運転または自動入り切り運転”モードでオン時間が設定されていませんか。 時間が来るまで温度は上がりません。
温度の上がりが遅い 温度が低いのに試料が変質する	<ul style="list-style-type: none"> ● 試料を入れすぎていませんか。 槽内は十分な空スペースをとってください。 試料を入れすぎると空気の対流が不十分となり、各棚段ごとで大きな温度差を生じる場合があります。特にヒータの近くの温度が高くなるため、試料が変質する場合があります。
オートチューニングがかからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 低い温度でオートチューニングをかけていませんか。 オートチューニングは設定温度でヒータをON/OFFさせて演算しますが、周囲温度に近い温度では設定温度より高い領域で非常に冷めにくく、降下に時間がかかりすぎて演算できなくなります。 もう少し高い温度でオートチューニングをかけ直してください。 <p>※オートチューニングは連続運転（定値運転）モード時のみかけられます。ただし待機中ではかけられません。</p>
低温度域での温度制御ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 低温度域では大きなオーバーシュートや設定温度より高めで安定してしまう等、良好な制御が出来ないことがあります。 このような場合には以下の点を確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 設定温度が外気温よりも低くありませんか。 製品の制御補償範囲は $23^{\circ}\text{C} \pm 5^{\circ}\text{C}$ 以内です。 外気温（周囲温度）より高い温度で運転してください。 2) 運転温度付近でオートチューニングをかけ直してみてください。 3) 槽内に試料を詰め込みすぎていませんか。

6. お手入れについて

6-1 本器の材質について

外装は冷間圧延鋼板にメラミン焼き付け塗装を施し、内槽はSUS443J1で出来ています。

内、外装共、長時間清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となりますので汚れが軽いうちに清掃してください。特に内槽壁面や棚網に付着した物質は加熱処理の繰り返しによって焼き付き状態になってしまうことがありますので、放置せず直ぐに清掃してください。定期的に清掃を実施して常にステンレスの表面を清潔にしておくことは、ステンレスの耐久性を高めることとなります。

また、ステンレスは非常に腐食し難い金属ですが、塩酸・硫酸等の酸、強いアルカリ溶液、塩水等で錆びる場合がありますので、これらの物質を付着させないよう注意してください。

外装背面の板と端子カバーはガルバリウム鋼板で出来ています。

ガルバリウム鋼板はアルミニウムと亜鉛の合金を溶融メッキした鋼板で、通常の亜鉛メッキ鋼板に比べて5倍以上の耐食性がありますが、ステンレス同様常に表面を清潔にしておくことは、ガルバリウム鋼板の耐久性を高めることとなります。

6-2 清掃の方法

1. ふつうの汚れ及び手あかの場合には、中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取り、最後によく水洗いをしてから乾いた布で水気を拭き取ります。
2. 落ち難い汚れや油性の汚れの場合には、アルコール、ベンジン等でふき取り、最後によく水洗いをしてから乾いた布で水気を拭き取ります。
3. 点状の錆びがみられる場合にはスポンジ又はステンレスたわしに中性洗剤をつけて拭き取ってください。きれいに除去出来ない場合は粒子の細かいみがき粉でこすり取ってください。市販のステンレス用清掃薬液も効果があります。その後必ず十分に水洗いをして薬液が残らないようにし、更に乾いた布で水気を拭き取ります。

6-3 手入れ上の注意

- ステンレスの汚れや錆びの原因や状態は、個々のケースによってまちまちであり、それぞれの状況に応じた清掃が必要です。あらかじめ部分的に「ためしぶき」して落ち具合を確認して、その結果がよければ、その方法で全面にわたる清掃を行ってください。
- 内槽のステンレスは2B仕上げという光輝処理がされています。内槽外装共にかなりひどい汚れの場合でも目のあらいクレンザーやサンドペーパー、スチールウールなどを使用するのは避けてください。ステンレスの表面を傷つけ、光沢のラインがくずれるばかりでなく、鉄粉が付着しやすくなり錆の原因となることがあります。
- 市販の清掃薬液を使用する場合には、汚れた部分だけでなくその周辺部も手入れをしてください。部分的な清掃では色むらが残ります。

6-4 ステンレスは絶対に錆びない？

ステンレスは鉄やアルミニウムに比べて、はるかに耐食性にすぐれて非常に錆びにくい金属ですが、絶対に錆びない金属ではありません。

鉄は空気中で酸化して錆び易いのですが、SUS443J1は約21%のクロムが添加されて耐食性が向上して錆び難くなっています。

ステンレスが錆び難いのはクロム元素が空気中の酸素と結合して、地金の表面に強固で緻密な不動態化被膜（酸化被膜）を形成し、この被膜が酸化作用を防ぐと共に様々な腐食要因から地金の表面を保護する役目を果たします。このようにステンレスは不動態化被膜が保護膜となって腐食を防いでいます。

もし表面に傷がついてもクロム元素が空気中の酸素と結合して、保護膜が再生されるのでいつまでも美しい外観を保つことができます。

しかし、空気中に浮遊する鉄粉や有害ガス成分、塩分等が付着、堆積すると、これらの付着物が核となり、湿気が加わって固着し、不動態化被膜を傷つけ、更にクロムと酸素の結合が遮断された状態で放置されるとステンレスにもいわゆる「もらい錆び」がみられるようになります。

このようなステンレスの性質を御理解の上、日頃から清掃を実施して表面を清潔にしておけばステンレスはいつまでも使用当初の美しさを保ちます。

7. 保証とアフターサービス

7-1 保証条件

製品は最新の設備と品質管理の行き届いた工場で製造され厳正な検査を経て出荷しております。しかし、万一保証期間内に付属の取扱説明書に基づいた正常な使用方法にも関わらず故障が発生した場合は、製品に添付している保証書の条件に従い無償修理を致します。

但し以下のような場合は保証期間内であっても保証は適用されませんので予めご了承ください。

- ① 誤ったお取り扱いで生じた故障
- ② 不当な修理をされたり、改造による故障
- ③ 火災、地震、天災等の不可抗力によって生じた故障
- ④ 十分な保守を行わないために生じた故障
- ⑤ 設置条件の不備のため生じた性能上への影響及び故障
- ⑥ 製品の設置後に移動、輸送等で生じた故障
- ⑦ 製品から発する音・振動等、機能・性能上影響がない感覚的な現象
- ⑧ 製品を使用出来ないために生ずる精神的及び物理的損失
- ⑨ 保証書の紛失及び提示のない場合
- ⑩ 販売店名及び発行日、捺印が無い場合
- ⑪ 消耗部品及び定期交換部品の故障(注参照)

注1 消耗部品・・・ヒータ・センサ・パッキン

注2 定期交換部品・・・ソリッドステートリレー（SSR, トライアック）

7-2 保証期間

このシリーズの製品は長期間安心してご使用出来る設計になっております。

製品ご購入時に2年間（特型・特別仕様品は1年間）の無償修理を保証しております。

保証期限を過ぎてからは規定料金を頂いて修理を承ります。

8. 仕様

8.1 わかば

型式	VTEC-18	VTEC-40	VTEC-75	VTEC-154		
内容積(リットル)	18	40	75	154		
質量(約)	28kg	38kg	49kg	65kg		
内寸法(W×D×Hmm)	300×300×300	400×400×250	500×500×300	600×600×430		
棚板有効寸法(W×Dmm)	249×276	349×376	449×476	549×576		
外寸法(W×D×Hmm)	755×485×385	855×585×435	970×685×485	1070×785×615		
方式	強制循環式					
電源	電圧	AC 100V-1φ				
	最大電流	5A	8A	10A	14A	
	最大消費電力	0.5kW	0.8kW	1.0kW	1.4kW	
使用周囲温度範囲	5~35°C(性能保証周囲温度23°C±5°C)					
性能	温度範囲	40~260°C				
	温度変動幅	±0.1°C (at 100°C、200°C、260°C)			±0.1°C (at 100°C、200°C) ±0.2°C (at 260°C)	
	温度分布 (±°C)	100°C	0.8	1.0	0.5	1.0
		200°C	2.0	2.0	1.5	2.5
		260°C	3.0	3.0	2.5	3.5
最高温度到達時間	約60分					
構成	ヒータ容量	0.4KW	0.7KW	0.9KW	1.3KW	
	温度センサ	K熱電対(Wセンサ)				
	ファンモータ	25W				
機能	温度設定・表示・指示	シートキー入力 4桁11セグメントLED表示(文字高14mm)				
	運転モード/パターン	定値運転・自動入運転・自動切運転・自動入切運転・プログラム運転(6パターン、16ステップ)				
	安全機能(自己診断機能)	設定値異常・センサ断線警報・操作器短絡警報・ヒータ断線警報 PV値警報・停電警報・温度制御器エラー・オートチューニング異常				
棚板	等分質量15Kg/枚 ステンレス製(SUS443J1)1枚付属					
段数	フリーセット 4段	フリーセット 5段	フリーセット 7段	フリーセット 10段		
外装材	鋼板メラミン焼付塗装仕上げ、背面ガルバリウム鋼板					
内槽材	ステンレス製(SUS443J1)					
ケーブル孔	左側面1ヶ所 内径35mm					
標準装備	アジャスタ					

8.2 あおば 横型モデル

型 式	VTEC-166	VTEC-166-H	VTEC-216	VTEC-216-H	VTEC-274	VTEC-274-H		
内容積(リットル)	166		216		274			
質量(約)	100Kg		115Kg		125Kg			
内寸法(W×D×Hmm)	550×550×550		600×600×600		650×650×650			
棚板有効寸法(W×Dmm)	496×526		546×576		596×626			
外寸法(W×D×Hmm)	1140×870×780		1190×920×830		1240×970×880			
方 式	強制循環式							
電 源	電圧 AC 200V-1φ							
	最大電流 10A		12A		14A			
	最大消費電力 1.9kW		2.4kW		2.8kW			
使用周囲温度範囲 5~35°C(性能保証周囲温度23°C±5°C)								
性 能	温度範囲		40~260°C	40~300°C	40~260°C	40~300°C	40~260°C	40~300°C
	温度変動幅		±0.1°C (at 100°C, 200°C, 260°C, 300°C)					
	温度分布 (±°C)	100°C	1.0		1.0		1.0	
		200°C	2.0		2.0		2.0	
		260°C	3.0	-	3.0	-	3.0	-
300°C		-	3.5	-	3.5	-	3.5	
最高温度到達時間		約60分	約80分	約60分	約80分	約60分	約80分	
構 成	ヒータ容量		1.8kW		2.2kW		2.6kW	
	温度センサ		K熱電対(Wセンサ)					
	ファンモータ		90W					
機 能	温度設定・表示・指示		シートキー入力 4桁11セグメントLED表示(文字高14mm)					
	運転モード/パターン		定値運転・自動入運転・自動切運転・自動入切運転・プログラム運転(6パターン、16ステップ)					
	安全機能(自己診断機能)		設定値異常・センサ断線警報・操作器短絡警報・ヒータ断線警報 PV値警報・停電警報・温度制御器エラー・オートチューニング異常					
棚板		等分質量15Kg/枚 ステンレス製(SUS443J1)1枚付属						
段数		フリーセット 14段	フリーセット 16段		フリーセット 18段			
外装材		鋼板メラミン焼付塗装仕上げ、背面ガルバリウム鋼板						
内槽材		ステンレス製(SUS443J1)						
ケーブル孔		左側面1ヶ所 内径35φ						
標準装備		アジャスタ						

8.3 あおば 縦型モデル

型 式	VTEC-200	VTEC-200-H	VTEC-300	VTEC-300-H		
内容積(リットル)	200	200	300	300		
質量(約)	120kg	120kg	145kg	145kg		
内寸法(W×D×Hmm)	500×500×800	500×500×800	600×500×1000	600×500×1000		
棚板有効寸法(W×Dmm)	449×476	449×476	549×476	549×476		
外寸法(W×D×Hmm)	745×940×1470	745×940×1470	845×940×1670	845×940×1670		
方 式	強制循環式					
電 源	電圧 AC 200V-1φ					
	最大電流 11A		16A			
	最大消費電力 2.2kW		1.0kW			
使用周囲温度範囲 5～35℃(性能保証周囲温度23℃±5℃)						
性 能	温度範囲 40～260℃		40～300℃	40～260℃	40～300℃	
	温度変動幅 ±0.1℃ (at 100℃、200℃、260℃、300℃)				±0.1℃ (at 100℃、200℃) ±0.2℃ (at 300℃)	
	温度分布 (±℃)	100℃	1.0		1.0	
		200℃	2.0		2.0	
		260℃	3.0	-	3.0	-
		300℃	-	3.5	-	3.5
最高温度到達時間 約60分		約90分	約60分	約90分		
構 成	ヒータ容量 2.0kW		3.0kW			
	温度センサ K熱電対(Wセンサ)					
	ファンモータ 60W×2					
機 能	温度設定・表示・指示 シートキー入力 4桁11セグメントLED表示(文字高14mm)					
	運転モード/パターン 定値運転・自動入運転・自動切運転・自動入切運転・プログラム運転(6パターン、16ステップ)					
	安全機能(自己診断機能) 設定値異常・センサ断線警報・操作器短絡警報・ヒータ断線警報 PV値警報・停電警報・温度制御器エラー・オートチューニング異常					
棚板 等分質量15Kg/枚 ステンレス製(SUS443J1)1枚付属						
段数		フリーセット 24段	フリーセット 29段			
外装材 鋼板メラミン焼付塗装仕上げ、背面ガルバリウム鋼板						
内槽材 ステンレス製(SUS443J1)						
ケーブル孔 左、右側面2ヶ所 内径35mm						
標準装備 キャスタ、アジャスタ						

8.4 さくら

		自然対流式恒温器		定温培養器		
型 式		MRNE-22	MRNE-45	MRJE-22	MRJE-45	
内容積(リットル)		22	45	22	45	
質量(約)		22kg	29kg	22kg	29kg	
内寸法(W×D×Hmm)		300×300×250	300×300×500	300×300×250	300×300×500	
棚板有効寸法(W×Dmm)		248×286		248×286		
外寸法(W×D×Hmm)		445×455×535	445×455×785	445×455×535	445×455×785	
方 式		自然対流式				
電 源	電 圧	AC 100V-1φ				
	最大電流	4A		1.5A		
	最大消費電力	0.4kW		0.15kW		
	使用周囲温度範囲	5~35°C(性能保証周囲温度23°C±5°C)				
性 能	温度範囲	40~200°C		35~70°C(アクリル内扉付)		
	温度変動幅	±0.1°C (at 100°C、200°C)		±0.1°C (at 50°C、70°C)		
	温度分布 (±°C)	100°C	2.0		-	
		200°C	3.0		-	
		50°C	-		1.4	
		70°C	-		1.6	
最高温度到達時間	約60分		約60分			
構 成	ヒータ容量	0.4kW		0.15kW		
	温度センサ	K熱電対(Wセンサ)				
機 能	温度設定・表示・指示	シートキー入力 4桁7セグメントLED表示				
	運転モード/パターン	定値運転・自動入運転・自動切運転・簡易プログラム運転				
	安全機能(自己診断機能)	動作停止、制御停止、調整データ異常、データバックアップエラー、A/D変換値異常、温度補償値異常、電源電圧の異常、ウォッチドッグタイマー				
棚板		等分質量15Kg/枚 ステンレス製(SUS443J1)1枚付属				
段数		フリーセット 5段	フリーセット 13段	フリーセット 5段	フリーセット 13段	
外装材		鋼板メラミン焼付塗装仕上げ、背面ガルバリウム鋼板				
内槽材		ステンレス製(SUS443J1)				

●低温恒温恒湿器 ●恒温器 ●電気炉 ●カスタマイズ品 ●気象観測機器 ●アフターサービス

本社

ISUZU CAP 新潟

〒955-0151

新潟県三条市菟堀藤平

1397-42

TEL 0256-46-2200

ISUZU CAP 関東

〒350-1328

埼玉県狭山市広瀬台

2-15-8

TEL 04-2968-4330

ISUZU CAP 東京

〒161-0031

東京都新宿区西落合

3-8-19

TEL 03-3951-1171

お求め、お問い合わせは

株式会社 いすゞ製作所

お問い合わせアドレス:

info@isuzuseisakusho.co.jp

ホームページアドレス:

<http://www.isuzuseisakusho.co.jp>